

審査の結果の要旨

氏名 李 俊

本論文は、大規模津波災害における避難を対象とし、これまで原則禁止とされていた車で避難することの可能性を考えるために、東日本大震災の実態を参考にしつつ必要なモデル化を行って、各地域が目指すべきハード・ソフト施策を簡易に判定する方法論を開発したもので、車による避難の新しい方向性を提示することができている点で新規性がある。また、具体的な計算は種々の要素を加味していながらも、本論文の成果である方法論を実際に利用しようとした場合に求められるデータは人口規模と避難距離という非常に簡便な指標のみであり、実務者指向の方法論の開発に成功したと言ってよい。また、国レベル、県レベル、市町村レベルなど、行政規模に応じた使い方ができる点も本論文で開発した方法論の特徴である。この点について、本論文では実際に現地に適応を試み、その結果を実務者に提示して意見をもらっており、実務者からも一定の価値があると判断いただいている。

本論文は、わが国に将来発生すると言われている東海・東南海・南海連動型地震などの巨大地震災害とそれに伴う津波災害に対して、いかに事前に合理的に施設整備を行うべきかを考えるための基本的な道具を提供するものであり、非常に有意義なものである。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。